

8 . 河川空間の利用状況

8-1 河川敷地の利用状況

沙流川は、広大な河川空間を有しており、特に高水敷は背後地の諸条件により、その地域のニーズに適応した利用がなされている。

沙流川の流域においては、軽種馬が基幹産業であり大規模経営がなされていることから、高水敷という広い空間を採草放牧地として大いに利用しているところである。また、沙流川流域の門別町の都市区域においては、自然のうるおいやすらぎを得られる貴重なオープンスペースとして、広場・公園・緑地など多目的に利用されている。

沙流川での河川敷地としての利用状況は、表の通りである。

表8-1 河川敷地の占用状況（直轄管理区間）

単位：ha、下段（ ）：%

河川名	河川公園		水田耕作		畑 耕 作		採草放牧地		仮設建物		そ の 他		合 計	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
沙流川	3	24.8 (12)	22	9.1 (4)	-	-	109	165.9 (78)	-	-	105	12.8 (6)	239	212.6 (100)

注) 平成11年1月13日現在

8-2 河川の利用状況

沙流川は、沿川住民の多様な要請に伴い、沙流川橋周辺の河川環境整備事業、二風谷ダム、平取ダム建設に伴う周辺環境整備構想等が進められており、また、日高町の北海道富良野・大雪リゾート地域整備構想の計画がある。

河川を利用したイベントとしては、アイヌ文化の継承として船おろしの儀式であるチプサンケ、二風谷ダム湖内のポート大会等が実施されている。

また、一般的な利用としては、釣り、散歩、ピクニック、レクリエーション等を主体に、自然豊かな溪流や施設整備されている箇所等が利用場所となっている。平成10年度の年間利用者総数（推定）は2万3千人であり、利用形態別では、散策等が最も多く57%を占め、次いでスポーツが25%、釣りが10%、水遊びが8%となっている。



沙流川 門別地区 せせらぎ公園（平成5年）
せせらぎ公園親水広場の風景



水遊び（沙流川・門別地区）
せせらぎ公園の水路で遊ぶ子供達



カヌー（沙流川）
沙流川でカヌーを行う人々



サケ捕獲場（河口から4 Km付近）
8月～11月にサケの捕獲が行われている。